

会計名			施設管理事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	北部市民センター	
款	項	目					課等長名	原田 育雄	
10	5	9					作成者	鈴木 真貴子	
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進						
	目的	生涯学習施設（北部市民センター）として維持管理に努め、利用者の利便を図る。			主たる内容	施設利用に係る受付事務、施設清掃、各種設備機器の日常・定期点検を通じて、施設の適正な維持・保守管理を行う。			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市生涯学習推進計画						
		根拠法令	社会教育法、刈谷市市民センター条例、刈谷市公民館条例						
		対象者	市民			事業期間	昭和62年度～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		北部公民館利用者数 23,640人 施設利用率 29.1%		北部公民館利用者数 25,705人 施設利用率 28.4%		北部公民館利用者数 24,627人 施設利用率 27.3%		北部公民館利用者数 25,000人 施設利用率 27.8%	
成果 (できたこと)		身近な学習施設である北部市民センターで、公民館利用者が気軽に利用できるような住民の利便を図り生涯学習の場を提供できた。							
課題 (できなかったこと)		施設利用率が前年度と比較して1.1%減で、施設利用率を増やす施策が求められる。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
活動指標		北部公民館利用者数（人）			23,640	25,705	24,627	25,000	25,500
成果指標		施設利用率（%）			29.1	28.4	27.3	27.8	28.3
他市との比較検証		近隣市（安城市）においても、地区公民館単位で、施設管理コストの削減に努め、また、積極的に利用者からの意見収集に努め、適切に対処することで、よりよい施設環境の提供を行っている。							
C 事業コスト		単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳	
	事業費 ①		9,056	9,219	8,772	10,570	合計	8,772,464 円	
	財源	特定財源	1,121	0	1,324	1,224	需用費	3,178,130 円	
		一般財源	7,935	9,219	7,448	9,346	役務費	152,039 円	
	職員人件費 ②		0	4,349	3,589	3,746	委託料	5,354,578 円	
	総事業費 (①+②)		9,056	13,568	12,361	14,316	使用料及び賃借料	87,717 円	
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0		市民センター使用料 電話料実費徴収金					
25年度以降の事業費見込		0							

会計名		施設整備事業				担当部	生涯学習部		
一般会計						担当課	北部市民センター		
款	項					目	課等長名	原田 育雄	
10	5					9	作成者	鈴木 真貴子	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進						
	目的	施設利用者が、快適に利用できる環境を整えるため、施設改修工事を行い、利用率の向上を図る。		主たる内容	児童館トイレ改修工事…児童館トイレを和式トイレから洋式トイレに変更する。(男女各1)				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市生涯学習推進計画						
		根拠法令							
		対象者	市民		事業期間	昭和62年度 ~			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		_____		_____		児童館トイレ改修工事		_____	
成果 (できたこと)		児童館トイレに洋式トイレを設置し、快適な施設を提供することができた。 最近の児童は、洋式トイレでないと使用できない子もいるので、改善できてよかった。							
課題 (できなかったこと)									
指標名称(単位)				実績値			目標値		
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
活動指標									
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	630	0	合計	630,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	630,000 円	
		一般財源	0	0	630	0			
	職員人件費 ②		0	0	718	0			
	総事業費(①+②)		0	0	1,348	0			
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0							
25年度以降の事業費見込		0							

会計名		備品整備事業				担当部	生涯学習部		
一般会計						担当課	北部市民センター		
款	項					目	課等長名	原田 育雄	
10	5					9	作成者	鈴木 真貴子	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進						
	目的	老人センター利用者が、快適に利用できる環境を整えるため、備品整備を行う。	主たる内容	老人センターマッサージ器故障に付き、買い替え。					
	位置づけ	関連計画		第2次刈谷市生涯学習推進計画					
			根拠法令	社会教育法、刈谷市市民センター条例、刈谷市公民館条例					
		対象者	市民	事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
						防犯カメラ録画装置 1式		老人センターマッサージ機1台	
成果 (できたこと)		マッサージ機2台のうち1台故障（業者も修理できない状況）。2年間以上利用者には不便をおかけしていたので、待ち時間短縮できて利用者に喜んで使用してもらっている。							
課題 (できなかったこと)		多人数で利用されるので、機能が複雑だといろいろなぶり返りすぎて故障になる原因となる為、ある程度利用しやすい物を選んだが少し音がうるさい。音が緩和できるよう工夫したい。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			21年度	22年度	23年度	24年度	26年度		
活動指標									
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	491	230	合計		491,400 円
	財源	特定財源	0	0	0	0	備品購入費		491,400 円
		一般財源	0	0	491	230			
	職員人件費 ②		0	0	718	749			
	総事業費 (①+②)		0	0	1,209	979			
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0							
25年度以降の事業費見込		0							

会計名			市民講座開設事業				担当部	生涯学習部		
一般会計							担当課	北部市民センター		
款	項	目					課等長名	原田 育雄		
10	5	9					作成者	鈴木 真貴子		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	学習機会の充実							
	目的	多様化する市民の学習要求に応え、誰もが気軽に学べる機会と場所を提供するため、市民の生涯学習の推進と支援を図る。				主たる内容	市民ニーズの把握に努め、各種講座を前期4講座、後期2講座に分けて約3か月間（各10回程度）で開設する。1講座当たりの受講者数は、10人～20人程度で実施する。			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市生涯学習推進計画							
			根拠法令	社会教育法						
		対象者	市民			事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画		
		市民講座開設数 5講座 市民講座受講者数 81人		市民講座開設数 5講座 市民講座受講者数 100人		市民講座開設数 5講座 市民講座受講者数 105人		市民講座開設数 6講座 市民講座受講者数 111人		
成果 (できたこと)		市民の学習意欲の向上、知識教養を高め、学習活動の活性化を図ることができた。								
課題 (できなかったこと)		市民講座受講後の受講者の施設利用を考慮し、受講者による自主サークルへの参加や新たな自主サークル結成の促進を図る。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度		
成果指標		市民講座受講者数（人）			81	100	105	111	120	
活動指標										
他市との比較検証		近隣市（安城市）においても、地区公民館単位で、市民が多様な学習機会の提供を受けることができるよう、地域の特性や公共的課題を鑑み、多種多様な講座を開催し、生涯学習の推進を行っている。								
C 事業コスト		単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳		
	事業費 ①		555	540	440	506	合計		439,717 円	
	財源	特定財源	96	0	88	109	報償費	348,000 円		
		一般財源	459	540	352	397	需用費	81,717 円		
	職員人件費 ②		0	4,349	3,589	3,746	役務費	10,000 円		
	総事業費 (①+②)		555	4,889	4,029	4,252				
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称				
23年度迄の累積事業費		0		講座受講料						
25年度以降の事業費見込		0								

会計名			学習発表会実施事業				担当部	生涯学習部		
一般会計							担当課	北部市民センター		
款	項	目					課等長名	原田 育雄		
10	5	9					作成者	鈴木 真貴子		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	学習活動の支援							
	目的	北部市民センター利用団体の学習成果を芸能発表、展示等で行い、利用グループの交流と地域住民との親睦を図る。				主たる内容	学習成果の発表・展示、芸能音楽の発表、茶会を年1回、北部市民センター全館で実施する。			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市生涯学習推進計画							
		根拠法令	社会教育法							
		対象者	北部市民センター利用団体及び地域住民			事業期間	平成2年度 ~			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画		
		11月1日(日)開催 参加団体数 29団体 参加人数 392人 入場者数 638人		11月7日(日)開催 参加団体数 24団体 参加人数 341人 入場者数 400人		11月6日(日)開催 参加団体数 24団体 参加者数 353人 入場者数 490人		11月初旬開催予定 参加予定団体数 26団体 参加者予定数 360人 入場者予定数 490人		
成果 (できたこと)		利用グループが日頃の学習成果を作品展示、芸能発表、お茶席等を実施することにより、利用グループの交流と親睦の輪を広げることができ、地域住民との交流と親睦が深められた。								
課題 (できなかったこと)		学習発表会が福祉フェスティバルと重なって来客数が激減したので、増やす施策が求められる。								
指標名称(単位)					実績値			目標値		
					21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
活動指標		参加団体数(団体)				29	24	24	26	25
成果指標		来館者数【参加者数+入場場数】(人)				1,030	741	843	850	900
他市との比較検証		近隣市(安城市)においても公民館単位で、利用団体が学習成果の発表する「公民館まつり」を年1回開催し、地域の生涯学習活動の啓発を行っている。								
C 事業コスト		単位:千円		21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	23年度事業費内訳		
	事業費①		320	320	320	320	合計	320,000円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	320,000円		
		一般財源	320	320	320	320				
	職員人件費②		0	1,450	1,436	1,498				
	総事業費(①+②)		320	1,770	1,756	1,818				
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称				
23年度迄の累積事業費		0								
25年度以降の事業費見込		0								